

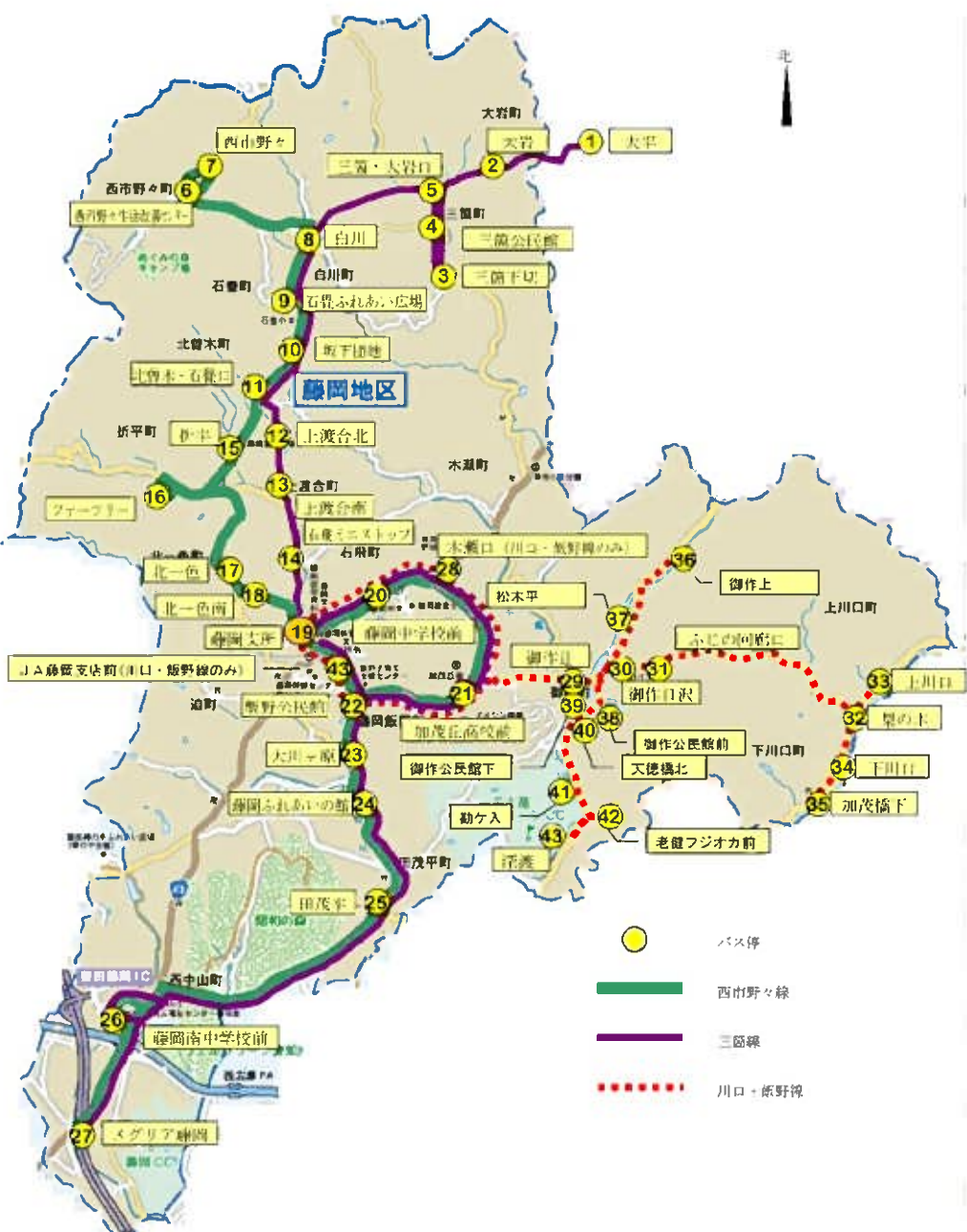
1 実験の背景と目的

地区内には3路線（西市野々線、三箇線、川口・飯野線）があり、1乗車200円（大人）である。藤岡地区内で移動したいとき、バスを乗り継ぐと200円×路線数が必要となり負担感大きい。これを解決する方法を検討するため、乗継割引を実施し、効果を検証する。

2 実験の概要

実施期間	平成30年8月1日（水）～9月30日（日）
実施路線	藤岡地域バス全線（西市野々線、三箇線、川口・飯野線）
実施主体	藤岡地域バス運営協議会　＜協力＞　豊栄交通（株）、（株）オーフ
実施方法	乗継券の受け渡しによる乗継割引（初めに乗車した車両で運賃を支払い、乗り継ぐ路線を指定し、乗継券を運転手より受け取り、次乗車降車時に運転手に券を渡す。）
費用負担	本事業の運賃の負担は協議会とする。 負担（実績）：7,000円

3 路線概要図



4 利用者数（結果）

ふじバス乗継割引（社会実験） 実施結果										全路線 計	
豊栄交通（三箇線、西市野々線）					オーフ（川口・飯野線）					月日	
月日	乗車路線	降車路線	降車場	人数	月日	乗車路線	降車路線	降車場	人数	月日	人数
8月7日	川口・飯野線	西市野々線	メグリア	3	8月7日	三箇線	川口・飯野線	御作辻	3	8月7日	6
8月10日	川口・飯野線	西市野々線	メグリア	3	8月10日	三箇線	川口・飯野線	上川口	1	8月10日	4
					8月10日	三箇線	川口・飯野線	加茂橋下	1	8月10日	1
8月16日	三箇線	西市野々線	メグリア	1						8月16日	1
8月20日	三箇線	西市野々線	メグリア	2						8月20日	2
8月27日	三箇線	西市野々線	メグリア	2						8月27日	2
8月 小計					8月 小計					8月 小計	16
9月3日	三箇線	西市野々線	メグリア	2						9月3日	2
9月7日	三箇線	西市野々線	メグリア	1						9月7日	1
9月10日	三箇線	西市野々線	メグリア	2						9月10日	2
9月11日	川口・飯野線	西市野々線	メグリア	3	9月11日	三箇線	川口・飯野線	御作辻	3	9月11日	6
9月18日	川口・飯野線	西市野々線	メグリア	2	9月18日	西市野々線	川口・飯野線	上川口	1	9月18日	3
					9月20日	西市野々線	川口・飯野線	下川口	1	9月20日	1
9月21日	三箇線	西市野々線	メグリア	2						9月21日	2
9月26日	三箇線	西市野々線	メグリア	1	9月26日	西市野々線	川口・飯野線	加茂橋下	1	9月26日	2
9月 小計					9月 小計					9月 小計	19
										8～9月 合計	35

5 実験の効果検証

- (1) 利用実績について
- ・期間中に延べ35名の利用者があった。
 - ・当初のPRという目的の一部は果たせたと考えられる。
- (2) 乗継について
- ・3路線ともダイヤが乗継用になっていないため、利用しづらい。
 - ・三箇線と西市野々線の乗継は、ダイヤ上の待ち時間は19分あるものの利用されている。メグリア藤岡店の利用者が午前中に帰宅が可能であるため、延べ13名の利用があった。
- (3) 料金について
- ・実験中は「200円で行けるのはありがたい。」という意見が多かった。
- (4) 目的地について
- ・三箇線、西市野々線の乗継目的地は「メグリア藤岡店」であり、限られている。
 - ・観光地である「石畳ふれあい広場」にも行くことはできるが、今回は利用者がいなかった。
 - ・川口・飯野線の乗継目的地は「御作辻」が起終点となっているため、ここからの利用者であることがわかる。また、川口方面で観光地の「川口やな」の利用者もいるようである。

6 まとめ

- 実験を通して広報活動を行ったことにより知名度は上がった。
- ダイヤの乗継向上した総合的な改正と地域内の移動を考えた路線の配置が必要
- 乗継を前提とした料金体系の検討により、利用促進が期待される。